

脚本

「RPG 保険会社」

応募日二〇一八年七月二十四日

リクエスト曲：「ゆず LOVE & PEACH」

脚本・原作 まはが い え り 真波貝海鷓魚

はりこのトラの穴作品より応募

放送後音声公開可

放送後脚本公開可

登場人物

- ・ 中本勇 (なかもと いさむ) ♂
一人暮らしの独身男性。
- ・ 白石 ミミミ (しらいし みみ) ♀
RPG 保険会社のセールス。
- ・ 武藤 翔 (むとう しょう) ♂
突然勇者に抜擢された際、RPG 保険会社に助けられた

懐概・あらすじ・プロット

ある男のもとへ、保険会社のセールスがやって来た。自動車保険？生命保険？いやいや。…え？じゃあ何なの？

文字数 約四〇〇〇文字

所要時間 13分

1.

(N) : ナレーション

「RPG 保険会社」

原作脚本

真波貝 海鷓魚 (まはがいえい)

登場人物

中本 勇

一人暮らしの独身男性。

白石 ミミ

RPG 保険会社のセールス

武藤 翔

謎の人物

N

ある男のもとへ、保険会社のセールスがやってきました

自動車保険？生命保険？え？違う？

いったい何の保険なのでしょう。

2.

SE :

インターホン何度も

中本 :

はい。はいはいはい。

SE :

ドアの開く音

中本 :

どちらさま？

白石 :

こんにちはー、保険会社の者ですが。

中本 :

やべ、めんどくさいやつだ。しくじったあ…。

白石 :

ちょっとお時間よろしいでしょうか？

中本 :

いや、あの…俺はそういうのいいんで。

白石… お話だけでも…。

中本… 勘弁してください。さよなら。

白石… ちよちよちよちよつと待つてください！せめて私も何が保険会社かだけでも聞いてください！

中本… ええ…。どうせ自動車保険だろ？

白石… いいえ。

中本… え？んじゃあ…生命保険？いやいや、俺そんな年じゃなくね？

白石… 勿論違います。

中本… えー？んーと…あ、火災保険か！

白石… いいえ。

中本… 何だよ…。あーもういいよ、答え言ってよ。

白石… おや？もういいのですか？

中本… 何楽しんでんの。

白石… いいのですね？

中本… いいつつの！早く言えよ！

白石… では…。

白石… 私、RPG保険の白石 ミミと申します。

中本… 白石…さん。どうも。

白石… それでは、当保険の説明をさせて頂きます。

中本… おっとー？有無を言わず説明だどー？

白石… えつと…お名前を教えてくださいますか？

中本… え…あの、契約するつもりないんですけど。

白石… とんでもございません！ただ聞いているだけです。

中本… お名前は？

白石… …中本、ですけど。

中本…

白石…

中本…

白石…

中本…

白石…

中本…

白石…

白石…

中本…

白石…

中本…

白石…

中本…

白石…

中本…

白石…

中本…

白石…

中本…

白石…

中本…

白石…

白石..

それがRPGのシナリオ！大抵の場合、それまで普通だった主人公は無意識のうちに、事に巻き込まれています！

中本..

…それは、プレイヤーに親近感持たせる為じゃないの？

白石..

つまり！勇者になるタイミングはあまりに突然！予測も出来ないのです！

中本..

…だから？

白石..

中本様！今突然勇者になってくれと言われたら、すぐ承諾出来ますか！？

中本..

いや無理です！！

白石..

ですよね！？いざRPGの世界に行っても、過ごす場所は？食事は？そもそもお金が使えなかったらどうするの！？姫を救う前に、自分の事に関して多くの問題が生じるのです！！

中本..

そういう事ではないなあ！！

白石..

そこで！我々RPGの保険は、そういった場合に対応する為のお手伝いをさせて頂いているのです！

間。

中本..

ごめんなさい。帰って。

白石..

え！？此処からが本番なんですけど！？

中本..

何？突然勇者に抜擢された時の為に金払えって？

白石..

その言い方は心外です。備えあれば憂いなしです。

中本..

備えすぎでしょ！あんた杞憂が過ぎるよ！

白石..

中本様、信じられておりませんか？

中本..

当たり前でしょ！！

白石..

…仕方ありませんねえ。それでは、当保険をご利用になられた方をご紹介しますしよう。

中本 ..
白石 ..

……いるのっ!?!?
武藤様ー!

3.

武藤が登場

武藤 ..

武藤 翔です。

中本 ..

いや誰!?

白石 ..

以前勇者になられた武藤 翔様です。

中本 ..

はあっ!?

武藤 ..

はじめまして。

中本 ..

帰って!!

白石 ..

武藤様、魔界での日々はいかがでしたか?

中本 ..

魔界!

武藤 ..

はい：確かに、モンスターと戦う装備品などは豊富に揃っているのですが、やはりこの世界の現金は使えなくて…。

中本 ..

ゲームのやり過ぎだよ!!

武藤 ..

いくら村人の家に入って、タンスやらゴミ箱やら

中本 ..

漁っても、得られる金貨は少ないですし…。

中本 ..

不法侵入!もはや空き巣!勇者名乗るな!!

白石 ..

RPGですから。中本様もそうしていたでしょう?

中本 ..

あれはゲームだから!そんないちいち罪悪感背負

白石 ..

ってたら進まねーよ!

白石 ..

そうですね。当然です。村人も、勇者には協力的ですから。

中本 ..

もおおとおおおっ!!!

武藤 ..

でも、RPGの保険に入っていたので、

中本 ..

よく入ってたな!!

武藤..

魔界でも、此処と同じように生活することが出来ました。

白石..

因みに武藤様がお選びになったのはAプランで、いちばんスタンダードなものとなっております。

中本..

スタンダード..。

武藤..

中本さん、男なら誰だって一度は憧れた勇者、でもその本当の生活は、思っていたより夢のあるものじゃないんです。

中本..

ちよつとあんた黙って！

武藤..

向こうでの生活を少しでも夢のあるものにする為に、RPG保険には入った方がいいと僕は思います。

白石..

その通りです武藤さん！中本さん、これで嘘じゃないと信じてもらえましたね？

中本..

信じるか！！どんだけ細かいとこまで嘘並べてんだよ！どーせあれだろ？この人だって役者だろ？こんなくだらない事によく協力してくれたな！

白石..

信じてもらえないのですか！？

中本..

当たり前でしょ！！

白石..

そうですか..。

武藤..

白石さん。アレをやりましょう。

白石..

..え、でもアレは。

武藤..

仕方ありません。彼を信用させる為です。

白石..

武藤様..。

中本..

あーあー、今度は何だ？今度はどうーゆー手で俺を信用させる気だ？まあ、何を言っても俺は絶対信用しないけどな！

武藤..

では。

武藤魔法を使う仕草

SE ..

魔法の音

壊すような音

中本 ..

武藤 ..

中本 ..

白石 ..

中本 ..

白石 ..

中本 ..

白石 ..

武藤 ..

SE ..

キラキラキラ〜♪

中本 ..

白石 ..

中本 ..

武藤 ..

中本 ..

白石 ..

うわっ！？

これでも信じて頂けませんか？

何が起きた…！？

流石です武藤様！これは武藤様が魔界で手に入れられた、いかづちの術でございます。

って、ええええええ！？俺の庭ああああ！！ああ

ああああ！！？俺と共に歩んできた花水木がああ

ああ！！

…中本様、落ち着いてください。

どうしてくれんだよおお！！ええ！？

…武藤様。

安心してください。

ああ…ええ？

素晴らしい！これはマジック・リカバリー！花水

木も元通りですね！

花水木…！良かった…！

生えていますよ。

やかましいわ！

此処までくれば、もう信じて頂けますね？

中本..
白石..
中本..
白石..
中本..
武藤..
中本..
武藤..
中本..
武藤..
間。
中本..
武藤..
中本..
武藤..
中本..
白石..
中本..
間。

ん…ああ。
では、当保険のご検討、よろしくお願ひします。
ああ待つて。…えっと、武藤さん？だっけ。
はい。
あの…ぶっちゃけた話、どうだったの？
…と、言いますと？
えっと、なんつーか…楽しかった？
……はい。
どんな？どんな感じで？
そりゃあもう…村人にはちやほやされるし、なん
たつてヒーローですからね。あと…
あと？
…戦つてゐる時の自分、めっちゃカッコいいって思
います。
ああ、なるほどお…。あ、そういやさあ、例えば
戦つてゐる時に死んじゃったらどうするの？
はい。復活の薬を常備しておりますので、その点
の心配はご無用です。
それつて、生き返るつて事？
はい。もつとも、魔界でしか使えません。その
薬は私どもがご用意します。
へえ…。

中本…
……入ろうかな。
白石… 本当でございますか!?
中本… うん…
あつ、でもでも!入ったとしても必ず勇者になる
訳じゃあないでしょ?
白石… はい。あくまで、備えあれば憂いなしです。
中本… だよねえ…。
白石… 中本さん、もしかして、勇者になりたいんです
か?
中本… えっ!?あ!いや!いやいや!そーゆうーんじゃな
いって!
白石… ふうん?
中本… んで、契約するから!どうすりゃいい?
白石… では後日、また改めて連絡します。ここに電話番
号を…。
中本… はいはい。ええっと…(紙に電話番号を書きなが
ら) 一期一会のサンバ大会、4回裏でないでない
ホームラン、と。
武藤… よく覚えられるな、それで。
白石… ていうか全然語呂になってないし。
中本… はい。
白石… ありがとうございます。では…。
白石… 今日はありがとうございます。
白石… え?

中本..

何か：子供の頃のあの純粋な自分を思い出すいきつかけになつたかな、なんて…。はは、変ですよね。

武藤..

：いいえ。子供の頃の淡い気持ちは忘れがちです。中本さんがその気持ちに向かい合えるようになったのは、いいことだと思いますよ。

中本..

：そうですね。

白石..

では、失礼します。

武藤..

失礼します。

中本..

：勇者、か。ははは。悪くないかもな、この年で勇者つてのも。

武藤..

どうだった？さっきの人。

白石..

さっきの人？

武藤..

中本つて人。

白石..

ああ…あれは駄目ね。

武藤..

ええまた？でも最後は信用してくれてたじゃん。

白石..

でも、明らかに自惚れる為に勇者になるつもりだったじゃない。そういうのはお断り。

武藤..

おいおい、だったら俺だってあんな事言わなかったのに。ちやほやされるとか、カッコいいとか。

白石..

それが最終チェックだったの。

武藤..

何だよそれえ…。ちえー、またパーティーは俺だけか。

白石.. 翔一人でもまだ大丈夫じゃない。あたしもいるんだし。

武藤.. けどさあ…。

白石.. いーの。いくら死んだって復活の薬あるんだし。

武藤.. 翔の事は、あたしに任せるミミ!

白石.. おい、もう口癖出てるぞ。

武藤.. 今日も収穫はあったミミ? 翔を支えるお金も入ったし!

白石.. もう…最初はパーティーの仲間集めが目的だったのにさあ。

武藤.. でもどっちに転んでも得だミミ! あたしって天才ミミね〜♪

白石.. はいはい…。じゃあ、今回もお金だけせしめ続けるって事?

武藤.. 当たり前前ミミ? いつもそうミミ。

白石.. あ、そう。

武藤.. もう罪悪感もないミミ。

白石.. そうさそうさ。勇者のご時世とて、モンスター倒すだけの単純なものじゃないわけよ。これも世の常、致し方ない事。

武藤.. じゃ、戻ろっか。

白石.. おう。

7.

所変わって

中本.. 幕。

…いいなあ、勇者。早くなりてえなあ。

N

中本 勇

十河 圭祐

白石 ミヅ

三好 麻美

武藤 翔

市原 和憲

ナレーション

吉田香里奈

原作・脚本

真波貝 海鶴魚

選曲・効果

十河 圭祐